

群馬県の農林水産業の概要

特徴・取組

群馬県は、県土の約3分の2を丘陵山岳地帯が占め、変化に富んだ地形をなしている。平坦地域では年間日照時間が長く、特に冬季には「からっ風」と呼ばれる北西の季節風が強く吹き、乾燥した天気が続く地域である。

利根川水系などの豊富な水資源や、大きな標高差の中に耕地が分布する等の恵まれた自然条件、大消費地に近いという有利な立地条件を活かし、多彩な農業が展開され、野菜や畜産（豚、生乳）などの産地となっている。

群馬県の産業構造は、製造業の割合が高く、高い技術力をもった企業が多い。県内の上位産業を生産額でみると、自動車製造業をはじめとする「輸送用機械器具製造業」の割合が最も高く、次いで「食料品製造業」となっている。

特産物のこんにゃくいもは、全国収穫量の97%を占め、群馬県の中山間地域における基幹作物となっており、関連産業（製粉、加工、流通）も含め、地域経済に大きな役割を果たしている。また、キャベツ（嬭恋村など）、ほうれんそう（東部・利根沼田地域）の収穫量が全国1位、きゅうり（中部・東部の平坦地域）の収穫量は全国2位となっている。

畜産は、乳用牛・豚のいずれも飼養頭数が全国で5位以内に入るほど盛んである。

花きは、平坦地から中山間地まで地域特性に応じて、バラ・シクラメンをはじめ、多様な品目の栽培に取り組んでいる。

輸出では、和牛が、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等多くの国・地域に輸出されている。こんにゃく製品は、近年、健康志向の高まりを受け、各国・地域への輸出が伸びている。

県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画2021-2025」に基づき、基本目標「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」に向けて、成長産業として農業の持続的な発展を促進する「産業政策」と、農業・農村の有する多面的機能の発揮や農村の持続的な発展を促進する「地域政策」を車の両輪として推進する。

本県の農業と農村が持つ可能性を最大限引き出し、未来に向けて農業者が元気に躍動し、持続的に発展することを目指す。

主な農林水産物

こんにゃくいも

群馬県の特産物で、収穫量は全国の97%を占めている。新商品の開発や輸出に積極的に取り組んでいる。（収穫量全国1位）



キャベツ

嬭恋村などを中心に栽培されており、収穫量は全国の20%を占めている。（収穫量全国1位）



きゅうり

県東部地域を中心に栽培されており、収穫量は全国の10%を占めている。（収穫量全国2位）



ほうれんそう

年間を通して晴天が多く、県内各地で施設・露地栽培が盛んである。（収穫量全国1位）



ねぎ

秋冬ねぎを中心に栽培されている。また、下仁田ねぎは県西部地域の特産品として栽培されている。（収穫量全国6位）



うめ

県西部の高崎市榛名地区、安中市秋間地区及び箕郷地区を中心に産地が形成されている。（収穫量全国2位）



生しいたけ

県西部地域を中心に菌床栽培や原木栽培が盛んに行われている。（生産量全国3位）



生乳

赤城山麓（県中部地域）を中心に乳用牛が飼養されており、全国有数の生産量を誇っている。（生産量全国4位）



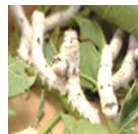
豚

県中部、東部地域を中心に飼養され、全国有数の飼養頭数を誇っている。（飼養頭数全国4位）



繭

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、シルク製品が注目されている。（生産量全国1位）



群馬県内の各地域における農林水産物

吾妻（あがつま）地域

【農畜産物】キャベツ、こんにゃく、いも、はくさい、スイートコーン、ズッキーニ、さやいんげん、えだまめ、なす、トマト、みょうが、レタス、りんご、いちご、ブルーベリー、スプレーギク、鶏卵、豚

【林産物】生しいたけ、えのきたけ

【水産物】にじます

利根沼田地域

【農産物】こんにゃく、いも、キャベツ、レタス、トマト、ほうれんそう、みょうが、だいこん、スイートコーン、えだまめ、りんご、いちご、ブルーベリー、おうとう、ぶどう、水稲、ふき、生乳

【林産物】生しいたけ、まいたけ

【水産物】にじます

東部地域

【農畜産物】きゅうり、トマト、なす、ほうれんそう、ブロッコリー、はくさい、にがうり、キャベツ、ねぎ、やまのいも、いちご、水稲、カーネーション、あじさい、シクラメン、肉用牛、豚

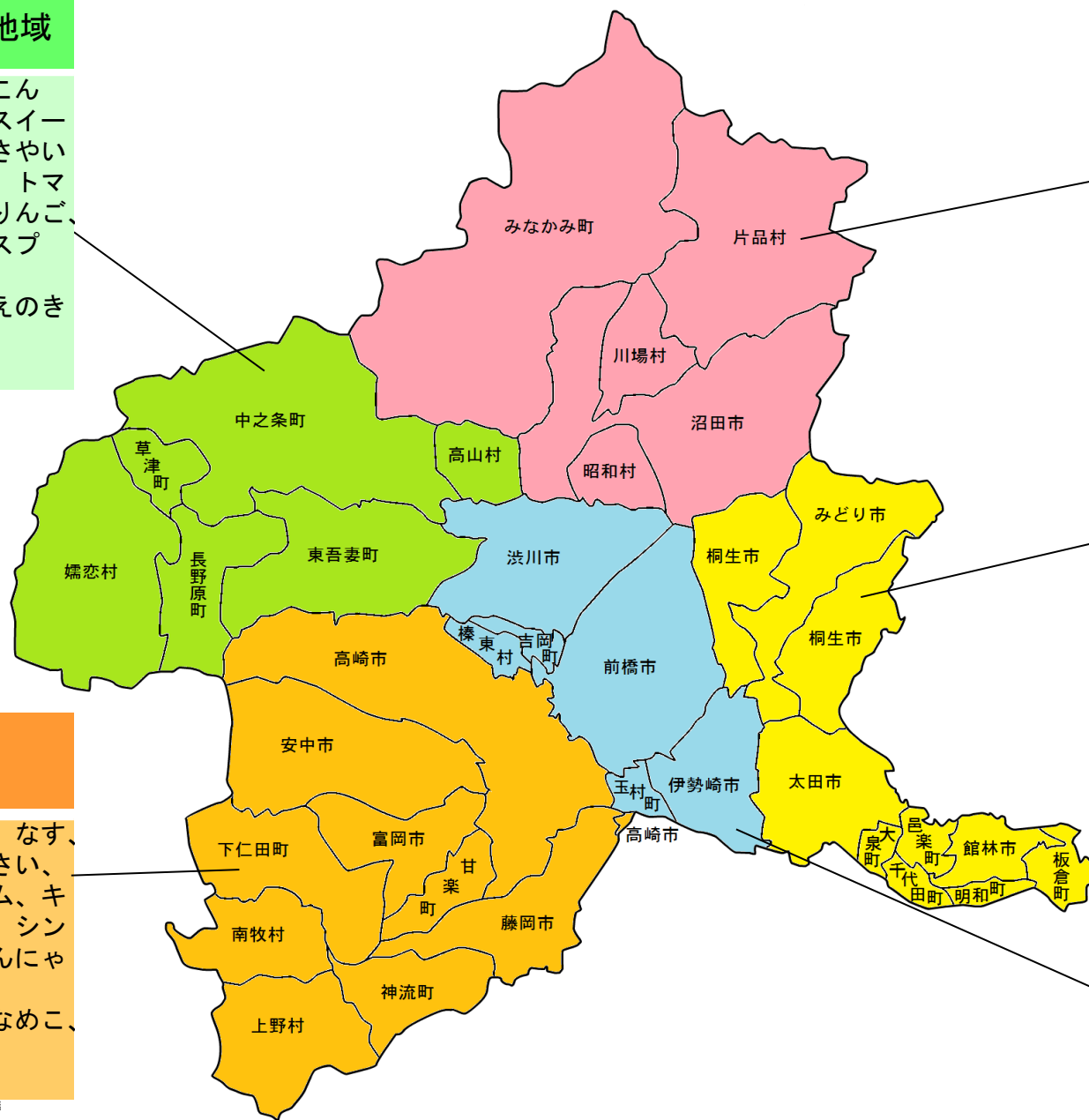
【林産物】生しいたけ、まいたけ

西部地域

【農畜産物】うめ、ねぎ、なす、
トマト、きゅうり、はくさい、
いちご、日本なし、プラム、キ
ウイフルーツ、キク、繭、シン
ピジウム、オリーブ、こんにゃ
くいも、豚
【林産物】生しいたけ、なめこ、
まいたけ
【水産物】こい

中部地域

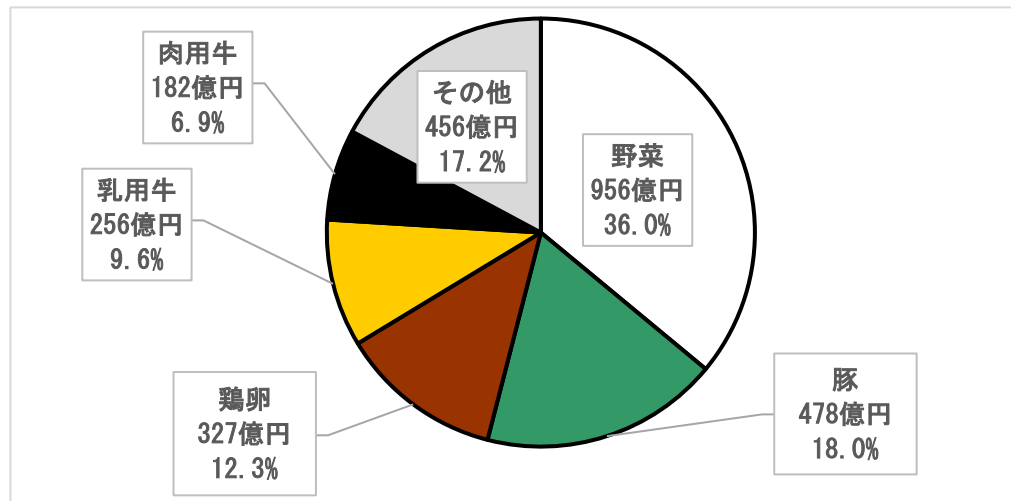
【農畜産物】きゅうり、ねぎ、
ブロッコリー、トマト、なす、
ちんげんさい、ほうれんそう、
ごぼう、はくさい、いちご、
りんご、ブルーベリー、こん
にゃくいも、水稻、小麦、生
乳、豚、肉用牛、鶏卵
【林産物】生しいたけ
【水産物】こい



群馬県の農業（１）

- ・農業産出額は2,655億円で全国12位。うち米が153億円（5.8%）、野菜が956億円（36.0%）、畜産が1,319億円（49.7%）。
- ・農畜産物の生産状況は、こんにゃくいも、キャベツ、ほうれんそう、蒭が全国1位、きゅうり、ふき、うめが2位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	群 馬 県	全 国	全国順位	
こんにゃくいも	収穫量	R6	49,700 t	51,400 t	1 *
キャベツ	収穫量	R5	282,900 t	1,434,000 t	1
きゅうり	収穫量	R5	53,900 t	529,200 t	2
ほうれんそう	収穫量	R5	22,400 t	206,800 t	1
ねぎ	収穫量	R5	18,400 t	416,200 t	6
ふき	収穫量	R5	852 t	6,960 t	2
うめ	収穫量	R6	4,150 t	51,600 t	2
豚	飼養頭数	R6	610,800 頭	8,798,000 頭	4
生乳	生産量	R6	204,542 t	7,357,451 t	4
蒟	生産量	R5	18 t	45 t	1

出典：「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「蚕糸業をめぐる事情 令和6年10月」

農業産出額のデータ

区 分	群馬県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,655 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	12
米	153 億円 (5.8)	15,193 億円 (16.0)	33
麦類	23 億円	678 億円	5 *
雑穀	1 億円	77 億円	12
豆類	2 億円	572 億円	27
いも類	6 億円	2,301 億円	30
野菜	956 億円 (36.0)	23,243 億円 (24.5)	7
果実	76 億円 (2.9)	9,590 億円 (10.1)	30
花き	56 億円	3,522 億円	21
工芸農作物	49 億円	1,467 億円	6
その他作物	12 億円	585 億円	12 *
畜産	1,319 億円 (49.7)	37,212 億円 (39.2)	9
肉用牛	182 億円	7,696 億円	12
乳用牛	256 億円	9,249 億円	4
生乳	233 億円	8,310 億円	6
豚	478 億円	7,194 億円	5
鶏	388 億円	12,033 億円	12
鶏卵	327 億円	7,413 億円	8
ブロイラー	48 億円	4,471 億円	17 *
その他畜産物	15 億円	1,041 億円	5
加工農産物	1 億円	513 億円	28

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（ ）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

群馬県の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は6万3,200haで全国19位。うち田が2万3,500ha、畑が3万9,700ha。
- ・農業経営体数は2万298経営体で全国25位。うち法人経営体が739経営体で13位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,570経営体で全国19位。うち法人数が662法人で17位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が16億円で全国8位、経営体数は260経営体で4位。

耕地面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
耕地面積	63,200 ha	4,272,000 ha	19
田	23,500 ha	2,319,000 ha	32
畑	39,700 ha	1,952,000 ha	8
普通畑	36,000 ha	1,118,000 ha	6
樹園地	2,670 ha	248,600 ha	29
牧草地	1,040 ha	585,900 ha	17
参考）総土地面積	6,362.28 km ²	377,975.68 km ²	21

出典：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」
（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	8,995 ha	256,676 ha	10

出典：「令和5年度の荒廃農地面積（令和6年3月31日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
農業経営体数	20,298 経営体	1,075,705 経営体	25
法人経営体	739 経営体	30,707 経営体	13
総農家数	42,275 戸	1,747,079 戸	17
販売農家	19,405 戸	1,027,892 戸	25
参考）世帯総数	805,252 世帯	55,830,154 世帯	17
集落営農数	117 集落営農	13,998 集落営農	32

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和6年集落営農実態調査結果（令和6年2月1日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	27,930 ha	2,593,345 ha	21
集積率	43.8 %	60.4 %	22

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和5年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,832 人	1,363,038 人	23
男	16,773 人	822,144 人	23
女	11,059 人	540,894 人	23
65歳以上	19,060 人	948,621 人	24
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.5 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,570 経営体	216,784 経営体	19
法人数	662 法人	29,128 法人	17
参考）人口総数	1,939,110 人	126,146,099 人	18

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和6年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 28,564 百万円 事業体数 640 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	12 18
農産物直売所	総額 32,473 百万円 事業体数 850 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	10 5
観光農園	総額 1,637 百万円 経営体数 260 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	8 4
農家民宿	総額 258 百万円 経営体数 20 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	6 * 14
農家レストラン	総額 891 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	18 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の林業

- ・林業産出額は68.2億円で全国25位。うち木材生産が23.9億円、栽培きのこ類生産が44.2億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国27位、生しいたけが全国3位、生きくらげ類が5位、まいたけが6位、なめこが8位。

林業産出額

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林業産出額	68.2 億円	5,562.5 億円	25
木材生産	23.9 億円	3,257.0 億円	27
栽培きのこ類生産	44.2 億円	2,199.2 億円	12

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
素材生産量	200 千m ³	20,647 千m ³	27
針葉樹	174 千m ³	18,926 千m ³	26 *
すぎ	130 千m ³	11,917 千m ³	24
あかまつ・くろまつ	2 千m ³	494 千m ³	19
広葉樹	26 千m ³	1,721 千m ³	15 *
生しいたけ	生産量 3,912 t	63,374 t	3
なめこ	生産量 814 t	23,752 t	8 *
まいたけ	生産量 1,247 t	55,290 t	6 *
生きくらげ類	生産量 92 t	1,680 t	5 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林野面積	409,098 ha	24,770,201 ha	21
国有林	178,537 ha	7,153,338 ha	9
民有林	230,561 ha	17,616,863 ha	31
人工林面積	176,816 ha	10,133,111 ha	25

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
製材工場数	78 工場	3,749 工場	22
製材用素材の入荷があった工場数	78 工場	3,722 工場	22
国産材のみ	70 工場	3,116 工場	19
国産材と輸入材	8 工場	511 工場	26

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林業経営体数	358 経営体	34,001 経営体	33
法人経営体	76 経営体	4,093 経営体	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

群馬県の漁業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のふなが全国12位、内水面養殖業のにじますが9位。

漁業産出額

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	－ 億円	15,265 億円	－
海 面 漁 業	－ 億円	9,534 億円	－
海 面 養 殖 業	－ 億円	5,731 億円	－

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	－
内水面漁業経営体数	42 経営体	4,076 経営体	26

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	－
男	0 人	109,757 人	－
女	0 人	11,632 人	－

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,283 隻	－
動力漁船	0 隻	58,906 隻	－

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	… t	3,777,921 t	－ *
海面漁業漁獲量	… t	2,926,411 t	－
海面養殖業収獲量	… t	851,509 t	－ *
内水面漁業・養殖業生産量	301 t	51,908 t	21 *
内水面漁業漁獲量	2 t	21,567 t	36 *
ふな	1 t	284 t	12 *
内水面養殖業収獲量	299 t	30,341 t	16 *
にじます	168 t	4,734 t	9 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		群馬県	全 国	全国順位
水産加工	総額	－ 百万円	179,159 百万円	－ *
	事業体数	－ 事業体	1,220 事業体	－
水産物直売所	総額	－ 百万円	34,988 百万円	－ *
	事業体数	－ 事業体	810 事業体	－
漁家民宿	総額	－ 百万円	5,389 百万円	－ *
	経営体数	－ 経営体	540 経営体	－
漁家レストラン	総額	－ 百万円	13,249 百万円	－ *
	事業体数	－ 事業体	380 事業体	－

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の農林水産業の話題等（１）

「群馬県みどりの食料システム基本計画」の推進

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、令和４年７月に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和４年法律第３７号）」に基づき、令和５年３月に群馬県と県内35市町村とが共同で「群馬県みどりの食料システム基本計画」を策定した。有機農業を含めた環境保全型農業や温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の推進により、農業者の安定的な経営の実現や更なる経営発展が図られるとともに、環境負荷の少ない 방식으로生産された有機農畜産物等の販路拡大や消費者理解を促進することで、本県農業を環境と調和しながら持続的に発展させることを目指している。

○計画の推進方向

- 1 土づくりと化学肥料・化学合成農薬低減に資する取組推進
- 2 温室効果ガス排出量削減に資する取組推進
- 3 環境負荷低減が期待できる新技術や革新的な技術等の導入促進
- 4 持続可能な食と農の地域循環システムの実現

<甘楽町>（令和５年10月20日オーガニックビレッジ宣言）

令和５年度に「甘楽町オーガニック推進協議会」を設立し、令和６年度から今後５年間は、「未来へつなぐ有機農業」を目指して、子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代への継承と有機農業のさらなる産地づくりに向けて取り組んでいる。

<高山村>（令和６年２月23日オーガニックビレッジ宣言）

５年後に目指す目標として、自然環境と調和した持続可能な農業をより一層発展させていくことを目標に、有機農業に力を入れ、農地の持つ多面的機能の保全を進める。また、大規模な慣行栽培を行う農業者の有機農業への移行や新規就農者支援の充実を図る。販路拡大の支援策とともに消費者の有機農産物への認知度向上を目指す。これまで地産地消の取り組みとして実施してきた学校給食の地場産食材の使用について、有機農産物を利用する割合を増やすことで新たな販路を獲得する。

<みなかみ町>（令和７年３月18日オーガニックビレッジ宣言）

有機農業に取り組む農業者や農地面積が少ない状況にあり、有機農業の栽培技術が普及していないことから、有機農業に取り組む農業者の支援体制を整備、環境負荷低減・資源循環型農業である「みなかみスタイル」に取り組む農業者を増やし、段階的に有機農業の拡大を推進していく。

群馬県 みどりの食料システム基本計画



令和５年３月

群馬県みどりの食料システム基本計画



令和６年12月７日 ぐんまオーガニック
フェスタの様子

群馬県の農林水産業の話題等（２）

群馬の強みを活かした野菜生産

群馬県は標高10～1,400mに耕地が広がる恵まれた自然条件を活かし、年間を通じて多彩な野菜生産が行われ、大消費地の100km圏内に位置する立地条件により、首都圏の重要な野菜供給産地となっている。

農林水産省が公表する令和5年産「野菜生産出荷統計」において、本県の野菜の重点8品目である「ほうれんそう」が出荷量及び収穫量日本一位、「キャベツ」が出荷量二位及び収穫量一位、「きゅうり」が出荷量及び収穫量日本二位となっている。

「ほうれんそう」は、平坦地から中山間地まで広く産地が形成されており、標高差を活かした産地間のリレー栽培や、雨よけハウス等による周年栽培が行われている。

「きゅうり」は、ハウスを利用して、促成（１～６月出荷）と抑制（９～１１月出荷）の２作型を組み合わせた栽培が行なわれている。

また、県内７農協で出荷規格等を統一した共計販売が行われ、大消費地である京浜市場をはじめ全国各地に出荷されている。

県では、栽培技術の指導やハウス施設・機械の導入を支援するとともに、ポスター等を活用した販売促進、産地紹介の動画を配信し、ＰＲ活動に取り組んでいる。



嬭恋村のキャベツ畑

農畜産物・食品の輸出の促進

群馬県農畜産物等輸出推進機構を構成し、地域農産物やその加工品等の販路について開拓するため、本県の実情にあった輸出対策の基本理念を形成し、輸出の事業活動を展開することにより、本県の農業や食品産業の育成と活性化を促進している。

令和5年群馬県農畜産物等の輸出金額は、前年を上回る15億3,900万円（前年比103.6%）となり、近年、健康食品として認知度が向上している「こんにやく加工品」や、牛肉が順調に増加したこと等により、前年を上回った。

- ・こんにやく加工品は、近年、健康食品として海外での認知度が向上してきており、輸出額は前年比114.8%となった。

- ・畜産物は、牛肉の欧州及び北米向けの輸出が好調であり、輸出額は前年と比べ増加した。

県産野菜の輸出については、東アジアを中心にバイヤー招へい商談会や現地ＰＲ販売等を継続的に実施した結果、多くの品目が通常取扱品として定着し、輸出額も年々増加している。一方、海外からの需要はあるものの、輸出に取り組む生産者、生産量が十分でない現状にある。

今後は、海外の実需者が求める品目・品質に応じた生産を推進するとともに、生産者団体等と連携し、輸出に取り組む生産者の掘り起こしを図るなど、輸出促進対策を強化する必要がある。また、輸出先国・地域を拡大するなど、新たな販路開拓も積極的に進めていく。



“日本の食品” 輸出ＥＸＰＯに群馬県ブース出展
（令和6年11月27日～29日）幕張メッセ